

コウチュウ目 ナガキクイムシ科 「カシノナガキクイムシ」 *Platypus quercivorus*

「カシナガ」  
ってよんで!

全国でも被害が出ている「ナラ枯れ」。埼玉県では43市町で被害が確認されています。\*1  
戸田市でも彩湖・道満グリーンパークにおいてカシノナガキクイムシに被害を受けている木が複数確認されています。

カシナガのメスの前胸背には「マイカンギア」と呼ばれるいろいろな菌類（アンブロシア菌）を貯蔵する器官（穴）があります。  
メスは木の中に潜り込むと、アンブロシア菌を植え付け繁殖させ食糧とします。  
その菌の中の一つに、ナラ枯れを起こす「ナラ菌（ラファエリア菌）」があります。食糧になる菌はナラ菌ではなく酵母菌などです。

ちなみにアンブロシアとはギリシア神話に登場する神々の食べ物のこと

体長 5mm  
分布 ニューギニア、ジャワ、インド、台湾、日本



穴のあきりにフェロモンのフラスコをつけるメスもオスもあつてくる

あはあつていけー

オスが直径2mmほどの穴をあけます

幼虫はこうぼ菌などをたべて成長します

ナラ菌の影響で水が吸えなくなった木は枯れてしまいます

まずオスが木に穴を開け、その穴からメスが入り産卵します。メスによって運ばれたナラ菌が繁殖すると樹木の水の通り道（導管）が機能を失ってしまい、枯れてしまいます。



木の根元のフラス\*2



左半分が枯れている

被害木  
ミズナラ、コナラ、カシワ、クリ、シイ、カシなど



東松山市のトラップによる駆除の様子

\*1 埼玉県HPより 2023年11月30日現在  
新座市、所沢市、さいたま市、狭山市、上尾市、入間市、川口市、川越市、飯能市、志木市、伊奈町、富士見市、三芳町、東松山市、和光市、日高市、北本市、三郷市、寄居町、朝霞市、ふじみ野市、鳩山町、滑川町、越生町、鶴ヶ島市、長瀬町、越谷市、蓮田市、坂戸市、嵐山市、深谷市、福川市、小川町、吉見町、春日部市、吉川市、毛呂山町、ときがわ町、川島町、

\*2  
カシノナガキクイムシの成虫や幼虫が木に穴を開ける時にでた木屑とフンの混ざったもの



カシナガ由来のナラ枯れは20世紀前半から報告がありましたが、被害は長続きしませんでした。

1960年代後半のエネルギー革命のあと1980年代後半から急速に広がりました。放棄された薪炭林の木が大径化し、カシナガが繁殖するのに適していたことも一因です。

被害は面的にも拡大しています。

しかし、むかし昔カシノナガキクイムシは森や林の中で大きくなった木を枯らすことによって、林床に光が差すようにし、若い木が成長するのに一役買っていたはずで、

本来の役割をまた果たそうとしているだけかもしれません。

#### 参考

埼玉県ホームページ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0905/kasnaga.html>

愛知県ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinrin/0000085698.html>

鎌田 直人, 2002. カシノナガキクイムシの生態. 森林科学 (35): 26-34